

講演会の感想

せつない涙、あたたかい涙、楽しい涙ありの2時間近くでした。我が子の心に貯金してやるには、まず自分自身の心も豊かでなくてはと思いました。先生との出会いを大切に今日のお話を私の子育てのエネルギーにして頑張りたいと思います。(小学校PTA) 人権教育ときいて、しっかりメモを取り勉強して帰ろう、と思って参加させていただきましたが、目からウロコで、最初から感動で涙、涙、次におなかの底から笑い、そしてすばらしい歌ありで、とても心に残るお話でした。優しい心で子どもに接し、10秒間の愛でギュッと抱きしめてあげることの大切さがあらためて感じ、とても元気にさせていただきました。仲島先生のような先生に私も学びたかった。(小学校PTA)

迫力でした。ALL関西弁の約2時間は貴重でした。こんな先生に出会えて、もう大人であるはずの自分でも心の扉が開かれた気がしました。(小学校PTA)

今までいろいろな学習講座に参加させてもらいましたが、今回が一番楽しくいつまでも仲島先生のお話を聞いていたいなあと思いました。子どもがいうことを聞かないときとか感情的になって、ついきつい言葉をかけてしまう私ですが、そのことが子どもの借金になっているんだなとわかりました。これからまだまだ長い(一生では短い)子育てを私も楽しく子どもにあたたかい貯金をいっぱいためていこうと思いました。(子育てセンター・子育て講座)

最初から最後まで時間の経つのも忘れてしまうほど楽しく、ときにはジーンとしてお話を聞かせていただきました。「優」しさの言葉のもつ意味のお話をいろいろと聞き、ずっと息子の顔が浮かんでいました。忙しさにかまけて、本当に息子の話に耳をかたむけているのか、優しく接しているのか、反省すべきところばかり浮かんでは消え・・・でも本日参加させていただいたおかげで、帰ってから息子に、家族に・・・ほんの少しだけ優しく接することが出来そうです。(中学校PTA)

優しさのビタミン愛をいっぱいいただきました。ありがとうございました。元気が出ました。また、教師として「言葉」「言葉かけ」を大切にしたいと思いました。多くの子どもたちやわたしの周りの人たちが頭に浮かび上がってきました。(小学校教師) 仲島先生を見ていると(お話をきいていると)いつも感じるがあります。それは「自分の生き方」そして「自分の感動」を通してつかんだ自分の言葉をもちたいなあということです。先生のお話はまさに先生の生き方そのものです。人のすばらしさ、子どもたちのすばらしさを熱を込めて、また心を込めて語れる人でありたいと思います。そのためにも、もっともっと人の声に耳を傾ける自分を磨いていきたいと思います。ありがとうございました。(小学校教師)

感動、感動の連続のお話でした。先生のあたたかい心のこもったお話をこれからの私の地域活動に活かしていきたいと思います。私も地域活動を通していろいろな人と知り合えていろいろな心ももらっています。もっともっと頑張ります。(公民館講座)

人間の生きる源となっている人権問題からはじまり、仲島先生の教師生活でのうれしかったこと楽しかったこと悲しかったことが伝わってきた今日のお話でした。夏休みにはオリンピックに燃えた私でしたが、アスリートの多くが語った「みんなに支えられた」という言葉とこの人権の問題とは多く通じる場所があった気がします。さあ今夜も子どもと夫に美味しい夕ご飯をつくろう！私の気持ちが奮い立ちました。（公民館講座）心がもう一度生まれかわってキレイになれたような気がします。素敵なお話をありがとうございました。学生の頃はもっと「誰かのために・・・」で生きていたのに、社会に出てから自分の事で精一杯になっていたなあ・と少し反省してみたり。また、大人になってからの方が「自分を好き」って素直に言えなくなってきたように思います。もう1回、自分のいいところ、自分にできることを探してみたいです。そしてまわりの人のいいところをもっと気づいていけるように、心をあたたかくしておきたいです。（公民館講座）今まで何回か参加してきた人権同和講座の中で、私には一番心に残るものだと思います。私から次の人に説明や話が出来やすく理解しやすいと感じました。子どもに対して、親が何を出来るかもよく理解できました。とても楽しく過ごせました。（公民館講座）今日先生のお話を聞かせて頂き、目からウロコが落ちたようでした。私もこれまで多くの同和学習や人権学習を受けてきて（出身校が部落を含む学校でした）私自身、差別はしていないつもりでした。実際、部落に住む友達もいます。そして一人の人間として接してきました。でもそんな私にもどこかに「それでも自分はちがうから」という気持ちが全くなかったかといえば、どうかわかりません。インターネットの差別書き込みの話は強い憤りを感じています。私自身、そしてまわりも、一人の人間として深く接していける社会にしなければと思います。（保育士）

とても元気な方で驚きました。実際に、自分の体験をその人の口から聞くと心に残るものがありました。一生懸命とか、感謝とかは、いつでも聞くと、私も使うけど、仲島先生の話の聞いていると、本当に「一生懸命」といえる場合や本当に「感謝」するときは、どういふときかを、あらためて教わった気がします。「自分は必ず支えられている」ということを聞いたとき、思い当たることがありました。母とけんかした時も「一人じゃ生きていかれへんねんで」と言われたのを思い出しました。「優」という字の意味は、ずっと覚えておきたいです。（中学3年生）

私は仲島先生の授業を受けてから、しばらくの間、感動がさめきれない状態でした。実技も講義も大変なためになつたし、私にとっても有意義な時を過ごすことが出来ました。実際のところ、実技がバスケの授業ということで、私はあまりバスケは得意でもないし、そんなに気持ちがのってない感じだったのですが、授業が始まったとたん、準備運動から、ボールを使ったいろいろなゲームから、やることなすこと全てが楽しくて夢中になってしまいました。あんなに楽しい体育の授業は、おそらく生まれて初めてのことはないかと思ったぐらいでした。楽しいだけでなく、感心した点もたくさんありました。常に生徒たち、特にあまり運動が得意じゃない子のいろいろな能力を見つけ

て、それを引き出そうとする先生の姿勢はすばらしいと思ったし、何と言っても私が魅力を感じたのは、私たちにいろいろ説明したりしているときの先生の顔でした。この先生はとってもいい顔をしているなあと思いました。実技の授業が終わってから、私もこんな先生に教わっていたなら、もっと体育を好きになっていただろう、そして仲島先生に習っている子どもたちはとっても幸せだなと、どれだけ思ったかしれません。そして講義の方では、楽しい話に加えてとても感動する話もしていただいて、教師って職業は、けっこうつらく大変なことも多いけど、本当にすばらしい職業だなあと感じずにはいられませんでした。授業を受けていた誰もが真剣に先生の話に聞き入り、先生の授業が終了したときには、誰もが心から感謝の気持ちと尊敬の気持ちを込めて拍手していたと思います。もちろん私も自然とそういう気持ちから拍手することができました。授業が終わった後、みんなで「とってもよかったね。もう本当に感動した」と口々に言いました。体育の授業のやり方とか、実際のそういった実践的なことももちろんですが、教師だけが味わえる喜びなど、そういった面についても教えられることがとても多かったです。またぜひとも仲島先生の授業を受けてみたいです。(兵庫教育大 学生)

私は仲島先生の授業を受けて、大変感動しました。大変わかりやすく納得のいくポイントをおさえた説明や指導をして下さったし、教師という職業に少し疑問を持ち始めていた私にとって久しぶりに、新鮮な風が吹き抜けたという感じでした。特に1限目の実技の授業では、タンブリンを使ったり、テンポのある授業で子どもになった気分で楽しみました。その授業の中で何度か「こういう場合は・・・」という形をとって指導の仕方のアドバイスがあったのですが、その中で一番いいなあと思ったことは「子どもを怒って動かしたりするのではなく、子どもが来なければ、自分がそこに行けばいい。教師が動くことです」という言葉でした。ほんと簡単なことなのに、私はそう言われるまで一度も気づきませんでした。そういう些細なことに、なぜか妙に心がひかれてしまいました。2限目の講義でも、何度も繰り返されていたのが「腹の立つこともぐつとがまん。」「上手な子にはそっとほめて、下手な子には大きな声でほめる」とか・・・本当にそうだなと思いました。子どもには、自分で見つけ出す力も、自分を成長させる力も、友達と協力する力もあるのだから、先生がむりやり教え込まなくても、先生が少し隠し味をだしてやれば、子どもは自分で自分の力を発揮していくのだらうと思います。なんて素敵なことだらうと思います。子どもを指導することは本当に大変なことだらうと思いますが、先生がおっしゃってた「しんどいことはたくさんあるけど、自分が努力したことはいつか必ずかえってくる」ということが先生の経験談を聞いた後だったので、よけいに胸にジーンときました。教師という職業は、不思議な魅力のあるものだなと思いました。最後に「早く現場で会いましょう」の言葉が妙にうれしくて、私も早くそういう経験がしたいと夢がふくらみました。(兵庫教育大 学生)